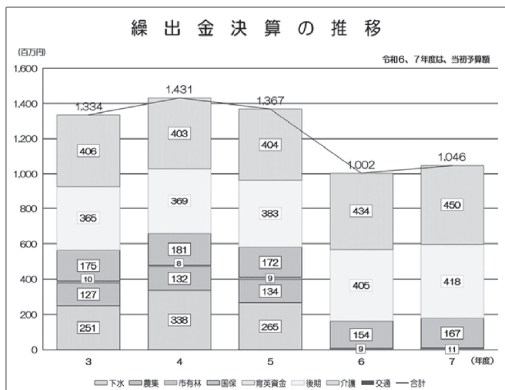


市債残高については、臨時財政対策債分が前年度比4億200万円減額となるものの、普通債分が前年度比17億9,000万円の大幅な増額となることから、全体でも前年度比13億8,800万円の増額となる見込みである。

なお、過疎対策事業債については、配分決定後、補正予算において財源組み替えを行うことを基本とするが、勝山中学校校舎等建設事業については、**公共施設等総合管理計画に基づいて行われる公共施設の統廃合を伴う集約化・複合化事業に該当し、公共施設マネジメント特別分として全額配分を受けられることから、過疎対策事業債を財源として予算計上することとした。**

◆ その他の経費（繰出金）【10億4,600万円】



繰出金全体では、前年度比4,400万円増額の10億4,600万円となった。

介護保険特別会計は、介護給付費が伸びていることに加え、システム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比1,600万円増額の4億5,000万円**となった。

後期高齢者医療特別会計は、保険基盤安定繰出及びシステム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比700万円増額の9,900万円**となった。

後期高齢者医療広域連合負担金は、団塊の世代が被保険者となるため、医療費負担額が増額となり、**前年度比700万円増額の3億1,900万円**となった。

国民健康保険特別会計は、システム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比1,300万円増額の1億6,700万円**となった。

◆ 115（いいこ）みらい応援金事業費【1億6,049万円】

勝山の未来を担う子どもたちの夢を応援し、勝山の未来の発展につなげるため、以下の条件で合計115万円を給付することとなりました。

- (1) 出産お祝い金（妊産婦医療費相当額）・・・1万円
- (2) 0歳から18歳までを対象に教育費・校外活動費として
年1回、6万円の応援金を給付する。・・・6万円×19年＝114万円



(1) + (2) 合計115万円

委員会内議論一部抜粋

委員：①目的に掲げている、「子ども名義の口座に給付することをきっかけに家庭内で子どもの未来を「語り」「考える」機会を醸成する。」という部分をしっかりと周知させて欲しい。②目標として掲げる10年後の出生数と転入増加数を合わせて115人、婚姻数を年間45組×115%で51組といった項目の根拠が語呂合わせでは認められない。目標達成できるようにロードマップを作るべきだ。順序が逆だ。③一度始めたらやめられなくなるのでやめるべきだ。

理事者：①事業の目的をしっかりと周知させていきたい。②達成目標は語呂合わせではなく目標として掲げている。現在、各課から係長クラスの職員を募り目標達成のためのプロジェクトチームを設立したところなので、ロードマップもそこで検討したい。③現在の国の制度設計が続く仮定での試算では10年間は続けられる見込みである。